

2020年 9月 10日

日吉キャンパス7学部¹・日吉学生部

**慶應義塾大学日吉キャンパス
オンライン授業の受講状況に関するアンケート調査
集計結果報告（概要）**

1. 調査の概要

(1) 調査対象者

- ・ 慶應義塾大学日吉キャンパスに在籍する学部学生

総数 10,451名（1年生 5,781名・2年生 4,670名）

※ 経済学部 PEARL (Programme in Economics for Alliances, Research and Leadership) 所属の学生を除く。

(2) 調査方法

- ・ keio.jpアカウントに登録された学生のメールアドレスにアンケート調査回答依頼状を送付し、オンラインの日本語アンケートフォームにて回答を受け付けた。
- ・ 回答は匿名とした。ただしkeio.jpアカウントによる認証を求め、回答者のメールアドレスが自動的に記録されることを事前に告知した。回答締め切り後、個人が特定できないように処理し、その上で集計を行った。
- ・ 回答は1名につき1回に制限した。

(3) 調査期間

2020年7月28日（火）～8月6日（木）

※ 8月7日朝までの回答を受け付けた。

(4) 回答数

5,807件（回収率55.6%）

※ 経済学部PEARLの学生については、別途英語版アンケートを実施したため、本報告書の集計には加えていない。なお英語版アンケートの回答数は78であり、PEARLの在籍者220名に対して回収率35.5%であった。英語版アンケートのデータは今後、経済学部によって集計・活用される予定である。

2. 調査結果の概要

- 回答者の所属学部別の分布に大きな偏りはないが、経済学部の回収率がやや低い。学年別では、1年生の回答者が多く、2年生の回収率がやや低い。
- 回答者の約85%が家族と同居している国内の自宅（うち14.2%は通学圏外の実家）から、また約8割が自分一人だけがいる部屋から、オンライン授業を受講していた。
- 回答者の5割弱が、「頻繁に」または「時々」ネット通信環境や通信機器のトラブルを経験していた。また多くの回答者が、自力で対応しトラブルを解決していた。

¹ 文学部・経済学部・法学部・商学部・医学部・理工学部・薬学部

- 回答者の春学期における平均的な履修科目数は、オンデマンド形式の授業が9科目、リアルタイム形式の授業が2～3科目、文書資料の配布が中心の授業が1～2科目であった。ただし、1年生のほうが履修科目が多い傾向がみられた。
- 回答者の1日の勉強時間は3.5～4.3時間ほどであった。また2年生の約65%が、昨年度の秋学期よりも勉強時間が「大幅に増えた」と回答した。一方、1年生の約56%が、勉強時間が「少し」あるいは「まったく」足りなかったと回答した。勉強時間が足りなかった理由として圧倒的に多かったのは「授業で出された課題が多すぎた」であった。
- 回答者は平均して7～8科目、課題提出がほぼ毎週求められる授業を履修していた。回答者は約15%に、履修取消手続をせずに途中で受講するのをやめた授業があった。受講をやめた授業は外国語科目以外かつ講義形式のものが多く、やめた理由は「他の授業についていくことを優先した」が多かった。なお、春学期、回答者の学生には平均8本の期末レポートが課され、受験したリアルタイムでのオンライン期末試験は平均2科目であった。
- 1年生は2年生に比べ、授業についての情報を交換し、学びあえる大学内の仲間が少ない傾向がある。そのような仲間が「一人もいない」と回答した1年生は約23%に達する。
- 授業から得られる情報量の多さという評価基準では、オンデマンド形式の授業がもっとも高く評価された。一方、知的成長の実感という評価基準では、教室での授業とオンデマンド形式の授業の評価が拮抗しているが、2年生は1年生に比べてオンデマンド授業を高く評価する傾向があった。² リアルタイム形式の授業は、「コミュニケーションの楽しさ」という評価基準で教室での授業に次ぐ高い評価を得たが、それ以外ではオンデマンド形式の授業よりも低い評価であった。
- コロナ禍が収束した後に受けたい授業を尋ねると、1年生の6割弱が主に教室で授業を受けることを希望しており、オンライン授業と半々で受講したいという回答と合わせると約75%に達する。それに対し、2年生では主に教室で授業を受けることを希望するのは4割に満たず、オンライン授業と半々で受講したいという回答と合わせても6割弱に留まった。自由回答の記述をみると、主に教室で授業を受けたい回答者は、大学のキャンパスでの先生や級友との交流を願っていることが伺えた。一方、主にオンデマンド形式の授業を希望する回答者は、通学時間がなく、自分の好きなペースで受講できる利便性を重視する傾向があった。

以上

² 2020年度春学期には、教室での授業は開講されていない。比較対象とされた教室での授業は、回答者が前年度までに大学あるいはそれ以外の場所で受講したものである。